

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.5

令和5年 5月 19日

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

第1回学校運営協議会報告

学校経営方針について、協議を行いました。
【協議内容】◆:委員から ◇:学校から

確かな学力：関連

◆家庭・学校・地域の連携で、子供たちの学びを支える時代である。体験学習の機会など、地域の力を積極的に活用してほしい。

豊かな心：関連

◆学習室（適応指導教室）の環境が整備されており、不登校傾向の生徒への配慮が伝わる。
◇学習室は、生徒個々のペースに合わせて登下校が可能で、一日数名の生徒が利用している。学習室の時間割に合わせて教科担任が交代で指導に入り、授業や個別指導を行っている。
◆卒業式を参観したが、卒業生が退場の際、「ありがとうございました！」とクラスごとにあいさつしていたことが、とても爽やかで感動した。
◆昇降口の下駄箱を見ると、上履きが上段、下履きが下段にきれいにそろって入り、クツのかかをとをつがしているものが見当たらない。落ち着いた学校の条件に適っている。
◆生徒会活動が活発に行われている。地域の活動とコラボできるところがあれば協力したい。
◇自治会のボランティア募集があれば学校でPRしたい。学校とは離れた活動になるが、地域活動に参加し、感謝される体験は、生徒の自己有用感に加えて自己肯定感の向上が期待できる。

健やかな体：関連

◆地域の民生児童委員会では、八中の地震時の避難行動が話題になっていた。先日の突然の地震に際し、各教室で、生徒は瞬時に「シェイクアウト（机の下に入り、机の脚をもって揺れが収まるまで待つ避難行動）」に入り、教員は窓を開け、カーテンを閉め、避難経路を確保するなど、一連の行動が素早く行われていた。

◇シェイクアウトは、小学校から訓練を繰り返し、児童生徒に習慣として身に付いている。これまでの積み重ねの結果。
◇マスク着用は、4月始業式で「着用を求めない」「個人の判断」と伝えている。また、コロナ禍で、社会的に保健・衛生に係る意識向上と、生活習慣改善が進んだ。インフルエンザやノロウイルス等の感染症予防の面からも、換気・手洗いなど、必要な生活習慣は継続していく。

信頼される学校：関連

◆良い指導のためには、教員相互のチームワーク、コミュニケーションが大切と考える。
◆家庭・学校・地域の連携で、子供たちの学びを支える時代である。体験学習の機会など、地域の力を積極的に活用してほしい。
◇ブログや学校だより等による積極的な情報発信を継続していく。学校HPアクセス数は、1日平均2,000前後である。GW明けは、アクセス数が伸び、1日3,000から7,000アクセスあった。部活動大会速報やコロナ5類対応に関する学校だより発行などが、要因と考えている。「いいね！」のカウントが増えると、そのブログ記事の関係生徒の承認欲求に応じて、自己有用感、ひいては自己肯定感向上につながるねらいがある。ブログチェックの際には「いいね！」のタップを呼び掛けている。

教職員の働き方改革

◆夜遅くまで、職員室で仕事をしている先生方がいて体調面など心配している。地域ボランティアとして先生方をサポートできることがあれば、ぜひ知らせてほしい。
◇市内統一で、最終下校時刻を最大1時間早めたことで、生徒の「お家時間」を増やすとともに、生徒下校後に教員が業務に取り掛かる時間が早まる。合わせて生徒の放課後活動は、確保したいので、時間割をアップデートした。授業開始・給食開始を5分早めたが、1週間で25分、1か月で100分、1年では、、と、積算効果を考えている。また、総合的な学習の時間をモジュール扱いし、6時間授業の日を週5から週4に減らした。

学校経営方針 ～本校教育活動の特色～

1 学校教育目標

自主・協力・継続

2 目指す生徒像と将来像

<生徒像>

- 自ら学び、考え、行動する生徒 --- 自主
- 協力し、励まし合う生徒 --- 協力
- ねばり強く努力する生徒 --- 継続

<将来像>

- 自主 --- ○様々な変化に積極的に向き合い、
- 協力 --- ○他者と協働して課題を解決し、
- 継続 --- ○社会に貢献できる人

3 目指す学校像

主役の生徒たちが生き生きと学ぶ学校

4 具体的な方策と取組（優先度：高・・・◎ 中・・・○ 下線：前年度から追加変更部分）

確かな学力

- 教育課程の工夫改善および教員の授業力向上
- 新学習指導要領の具現化⇒推進
- ◎GIGA スクールの浸透⇒推進
- ◎特別支援教育の充実
- ◎特活・総合学習の指導計画の工夫（モジュール）
- キャリア教育の計画的実践
- 授業研究および教員相互授業参観の充実
- 生徒による授業アンケートの活用

豊かな心

- 主体的な生徒活動による自己肯定感の向上
- 思いやりと命を大切にす心の育成
- ◎生徒会及び部活動を核とした生徒活動の充実
- ◎多様性社会に即した生徒指導の実践
- ◎悩み・不登校・いじめ・虐待等の早期発見と解消を図る機動的な教育相談体制の整備
- SNSのルール・マナー教育の推進
- 考え議論する道徳の実践

健やかな体

- 健康的で規則正しい生活習慣の育成
- ◎八中ヘルシープランの工夫・改善
- ◎新型コロナウイルス感染症拡大予防行動の習慣化
- 生涯に渡る運動習慣の基礎育成
- 災害に強い学校・地域づくり
- 安全な環境整備と安全意識の向上
- 地域と連携した防犯活動の推進

信頼される学校

- 学校/家庭/地域連携によるチーム学校体制
- 八中ブランド力の強化
- ◎ICT・各種たよりによる効果的な情報発信と学校・家庭・地域のネットワーク強化
- ◎教職員の危機管理能力の強化と不祥事根絶
- コミュニティ・スクールの充実
- ブロック小学校及び高校との連携強化

教職員の働き方改革

- 業務のスリム化と効率化の向上
- 職場のモラルアップ強化
- ◎デジタル化による業務軽減
- ◎スクラップ&ビルドの徹底
- ◎福利・厚生企画の充実
- 部活動の地域クラブ活動への移行（準備段階として、移行を必要とする部活から検討）

令和5年度学校運営協議会委員

- 相浦 敦（県立市川工業高等学校長）
- 石井裕昭（京葉ガス株式会社）
- 戸田悦子（民生児童委員）
- 角谷好枝（市川市統括コーディネーター）
- 喜々津信恵（学校支援コーディネーター）
- 二村順子（学校支援コーディネーター）
- 永田博彦（元学校教育部長：八中OB）
- 平田朋子（前PTA役員）
- 佐藤一彦（PTA会長）
- 石山ことみ（PTA副会長）
- 学校代表者（校長・教頭・教務主任）
- 市教委：学校地域連携推進課担当者

※学校運営協議会は、公開義務があり、傍聴が可能です。傍聴希望および今後の日程等については、学校（担当：教頭）までお問い合わせください。